

社会貢献活動の一環として、福祉施設へ使用済パソコンを寄贈

トヨタテクニカルディベロップメント株式会社（以下、当社）は、社内で不用となったパソコンを名古屋市内の福祉施設に寄贈いたしましたので、お知らせいたします。

当社は、2016年1月の事業再編にあたり会社理念・ビジョンを一新し、「会社の持続的成長と社員の幸せ」をキーメッセージとして新たにスタートをいたしました。「社員が自らの手でつくる会社」を目指して社員で構成する検討会を発足し、“みんなが笑顔、みんな笑顔になる会社に!!”をコンセプトに、広く施策の検討を行いました。その検討過程において、「会社で使用済みとなった備品を活用して、地域社会に貢献したい」という声に対し、多くの福祉施設で就労訓練や施設運営などにおけるパソコン利用ニーズがあることを知り、今回パソコンを寄贈することとなりました。

寄贈にあたっては、株式会社トヨタコミュニケーションシステムの「パソコン寄贈プログラム」へ参画し、障がいをお持ちの方や児童養護施設の子どもたちにも一緒に笑顔の輪が広がることを願い、寄贈いたしました。

<贈呈式概要>

日時：2016年12月6日（火）

場所：名古屋市内の福祉施設

寄贈台数：4台



((左)名古屋市福祉施設園長 羽根様 (中央)人事総務部長 堀井 (右)名古屋市子ども青少年局部長 小沢様)